

# 別紙 4

## 競技会開催にかかわる感染防止対策チェックリスト

### ◆入場者（【別紙 2】利用確認表記載者）が遵守すべき事項

#### ■自主的に参加を見合わせるべき事項

- 体調がよくない場合。発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛等の症状がある場合は、来場しないで自宅で安静にすること。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

#### ■主催者が提出を求める書類に関する事項

- 主催者が準備する保護者の同意書を申込締め切り日までに各校長に提出すること。その上で参加者一覧表に校長印を押印すること。
- 主催者が準備する観戦希望届を申込締め切り日までにとりまとめ、主催者に各校ごとにリストとして提出すること。
- 主催者が準備する健康観察シートを、競技会開催中は毎日受付に提出すること。  
また、このチェックリストを競技会に関わるすべての参加者に配布して遵守の徹底をはかり、以下に挙げる項目を把握しておくこと。
  - 所属、氏名、学年、連絡先（電話番号）
  - 当日の体温
  - 参加 14 日間における以下の事項の有無
    - 平熱を越える発熱（おおむね 37 度 0 分以上）
    - 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
    - だるさ（けんたい感）、息苦しさ（呼吸困難）
    - 嗅覚や味覚の異常
    - 体が重く感じる、疲れやすい等
    - 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触の有無
    - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

#### ■陸上競技部員（競技者および補助員）が事前に準備または実施すべき事項

- マスク（不織布奨励）は各自で準備すること。また、各校の集合場所で使用するアルコール等の除菌グッズは各校で準備すること。
- 各校の集合場所は三密を防ぐ工夫を施すこと。また、熱中症対策も実施すること。
- 飲料は個別に摂取できるものをあらかじめ準備すること。複数で利用する大型容器を用いた飲料の提供は行わないこと。
- 熱中症対策として、水分補給や日陰での休養、帽子の着用やタオルの使用など、各自でできる範囲の準備は実施すること。
- ゴミ袋は個人で持参し、ゴミは個人で持ち帰ること。鼻水、唾液などがついたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛ること。
- 落とし物や忘れ物がないように自己管理を徹底すること。体液が付着しやすい衣類・タオル・水筒などの捨得物は、保管せず即日廃棄する

#### ■競技会開催中に注意すべき事項

- 競技会前後のミーティングは、三密を避けること。
- 競技中と飲食中以外はマスクを着用すること。（受付や着替え、会話の際）
- 招集の際は挙手で確認を受けること。返事をしないこと。
- 試技前は「行きます」などの声は出さないこと。競技役員の合図によって試技を開始すること。
- 共用物を使用した場合や他の参加者と接触した場合は、その都度こまめに手を洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 唾や痰をはくことは緊急時以外行わないこと。
- タオルの共有や、同じ容器での水分補給は行わないこと。また、飲み残した飲料は周囲に捨てずに自宅に持ち帰って処分すること。
- 競技中以外は、他の参加者や主催者スタッフなどとの距離（できるだけ 2m 以上）を確保すること。
- 集団応援や集団での返事は禁止する。また、個人でも大声で声援を送らないこと。拍手をもって応援とすること。
- ゴミ処理等をした後は、必ず石鹸等で入念に手洗いを行うこと。